

## 【岐阜女子大学】メタデータ項目と記述内容

	メタデータ項目	メタデータ記述欄
1	ID	
2	表題名	与那原町の文化財
3	資料名	親川(うゑーがー)
4	内容分類	郷土・歴史
5	索引語	与那原町、御殿山、与那原大綱曳、カナチ棒、親川広場、拝所
6	説明	<p><b>■親川について</b></p> <p>親川(うゑーがー)は、天地開闢の昔、浜の御殿(御殿山)に舞い降りた天女が、子どもを出産する際に、この湧井の水を産湯に使ったとの神話が伝えられている。親川は、住民の生活に密着した井戸であると同時に、琉球王朝時代には国王の久高島参詣時の休憩場としても使用されている。</p> <p>また、「おなり神」の最高神女である聞得大君(きこえおおきみ)就任儀礼である御新下り(おあらおり)や東御廻り(あがりうまーい)の際に、御水撫で(うびいなでい)の儀式を行うなど、首里出発後、最初の拝所でもあり、聖地である。</p> <p>与那原の親川(うゑーがー)は琉球の精神文化の象徴であり、シティプライドとして町の魅力を高め、観光にも貢献している。シビックプライドとしては、地域住民が川を大切にし、自然を守ることで、町への愛着や誇りを深めている。</p> <p><b>■親川と生活との関わり</b></p> <p>親川は、王府との深い関わりを持つ聖地である一方、与那原の人々にとっても貴重な飲料水や生活用水を供給する井泉である。正月の若水や子どもの産水を汲む場所としても利用されており、地域の人々の生活に深く結びついている。</p> <p><b>■現在の親川</b></p> <p>現在、親川の井戸跡には拝殿が建てられ、親川広場として整備され、広場内の保管槽には与那原の代表的な行事である与那原大綱曳に欠かせない「カナチ棒」がひび割れを防ぐため大綱曳直前まで水中で保管されている。</p> <p>与那原大綱引きは西と東に分かれて綱曳き合うが、親川広場の親川拝所は「西(いり)」の衣装の着付け等の準備やチヂンドゥールーの飾りの仕上げを行う場所とされている。</p> <p>現在は水源としては利用されていないが、綱曳関連祭祀には巡拝され、若水(元旦の朝に初めて汲む水)もここで汲まれる。</p> <p>参考サイト  与那原町観光ポータルサイト、親川広場、<a href="https://yonabaru.okinawa/spot/visiting/wayga-square/">https://yonabaru.okinawa/spot/visiting/wayga-square/</a>。(アクセス:2025/2/16)  おきめぐり、親川(うゑーがー)、<a href="https://okimeguri.com/story-map/spot/agariumaijunrei/161-wega/">https://okimeguri.com/story-map/spot/agariumaijunrei/161-wega/</a>。(アクセス:2025/2/16)</p>

7	形式	静止画(jpg)
8	氏名	上門礼奈
9	時代・年	撮影日：2025年2月16日
10	地域・場所	〒901-1303 沖縄県島尻郡与那原町与那原 556
11	利用条件	表示 4.0 国際 (CC BY 4.0) で提供
12	関連資料 1	なし
13	権利者	岐阜女子大学
14	協力者	なし
15	登録日	2025/2/15
16	登録者	上門礼奈
17	ファクトデータ	 <p>circd086i-0012. jpg</p>
18	*特色	<p>■与那原町とは</p> <p>与那原町は沖縄本島の東海岸南部に位置し、北緯 26 度 11 分 58.5 秒、東経 127 度 45 分 17.5 秒にあって県都那覇市から 9km の地点にあり、南東に南城市、西に南風原町、北に西原町と 3 市町村に隣接している町である。</p> <p>■与那原町の歴史</p> <p>古くから交通の要衝や商業の街として、大正 3 年には那覇～与那原間に沖縄で初めての軽便鉄道が開通し、戦前の与那原は島尻郡東南部や中頭地方へ連結する産業経済の大動脈となり栄えてきた与那原町の歴史は古く、沖縄最古の古謡集「おもろさうし」の中に「よなはる」や「よなはばま」(与那覇浜)の名で登場している。</p> <p>与那原の地名は、かつて海岸地であったところの名称であるといわれ、先史時代の面影は、きわめて静かで白い砂浜が続く入り江を前にした浦辺の仙境であったと思われる。</p> <p>また、古代の与那原人が最初に住み始めたところは、上与那原(町南西部)であったといわれており、当時の上与那原は、海に近く漁労に便利でしかも</p>

		<p>水が豊富だったため、自然に人が住み着き、集落ができたと考えられている。</p> <p>昔の沖縄、琉球王国の宗教である『琉球神道』ではノロという神女の役職があり、その最高位を聞得大君といわれている。聞得大君は国王を靈的に守護する役を担っており、国王や国そのものに降りかかる災いを、その靈的力をもって退けていたと伝えられている。その聞得大君ゆかりの地として、与那原町には数多くの史跡が残されている土地である。</p> <p><b>■親川の名前のネットでの記載表示の違い</b></p> <p>親川は、与那原町ホームページでは、『親川(ウエエガア)』、与那原町オープンデータサイトでは『親川』、Yonabaru まちあるき MAP では、親川(うえーがー)と表示されており、サイトや資料によって親川の読み仮名の表示方法が違いがみられる。また、Google マップでは、親川は、『与那原親川』と表示されるため Google マップで親川に向かう際には注意が必要である。</p> <p>参考資料  与那原町, 与那原町の紹介, <a href="https://www.town.yonabaru.okinawa.jp/soshiki/2/67.html">https://www.town.yonabaru.okinawa.jp/soshiki/2/67.html</a>. (アクセス:2025/2/16)  与那原町観光ポータルサイト, 与那原町の歴史, <a href="https://yonabaru.okinawa/about-yonabaru/history/">https://yonabaru.okinawa/about-yonabaru/history/</a>. (アクセス:2025/2/16)  YONABARU LIBRARY, 親川, <a href="https://yonabaru.okinawa/opendata/detail/2353/">https://yonabaru.okinawa/opendata/detail/2353/</a>. (アクセス:2025/2/16)  与那原町, 親川(ウエエガア), <a href="https://www.town.yonabaru.okinawa.jp/oosunahiki/bunkazai/01-uega.html">https://www.town.yonabaru.okinawa.jp/oosunahiki/bunkazai/01-uega.html</a>. (アクセス:2025/2/16)  沖縄県, 与那原町, <a href="https://www.pref.okinawa.jp/machizukuri/suido/1012453/1022435/1003450/1022437/1003468.html">https://www.pref.okinawa.jp/machizukuri/suido/1012453/1022435/1003450/1022437/1003468.html</a>. (アクセス:2025/2/16)</p>
19	* 活用支援	
20	* 利用分野	教育、生涯学習、地域学習、観光
21	* 改善結果	
22	* 処理プロセス	
23	* 関連資料2	